

# 総合土砂管理

## ■総合土砂管理の概要

黒部川によって上流から運ばれてきた土砂は、下流で扇状地を形成してきましたが、その一方で数々の土砂災害を引き起こしてきました。また、下流では河川の河床低下や海岸の侵食などが起こっており、より自然な形で土砂を流下させることが必要であり、黒部川水系全体でバランスのとれた総合的な土砂の管理が欠かせないものとなっています。そのため、砂防、ダム、河川、海岸の一貫した土砂管理を実施し、適正な量・質の土砂を下流領域に供給するとともに、ダム機能の維持や河川の河床低下、海岸侵食の防止とあわせ、河川環境の保全を図るべく総合土砂管理を推進します。



# 自然環境への取り組み

黒部川では、洪水時における魚類の避難場所の確保、動植物の生息・生育・繁殖環境の創出を目的として、「やすらぎ水路」の整備を行ってきました。また、サクラマスをはじめとする動植物の生息・生育・繁殖環境の改善を図るため、黒部川本川において河原環境の再生、越夏場環境の整備等に取り組んでいます。

また、下新川海岸では離岸堤整備等において、アミノ酸の一種「アルギニン」を混ぜた環境活性コンクリートを設置するなどの環境保全対策を実施し、海藻類の早期成長を促すことで藻場造成に取り組んでいます。

## ■やすらぎ水路

黒部川に流入する支川・水路等を利用し、本川との連続性を確保すると共にワンド等の緩流域や水際部には魚類の生育の場となる湿地環境を創出しています。



## ■魚類の隠れ場、越夏場環境の創出

魚の隠れ場となる空隙や緩流域の形成のため、異形ブロックを用いた水中カバーを設置し、サクラマスなどの生息環境を創出しています。



## ■藻場・漁場保全機能の取組み

藻場を造成することで水産生物の生息環境を育み、豊かな生態系の創出に寄与しています。

